

僧ヶ岳・東又コースへ行く

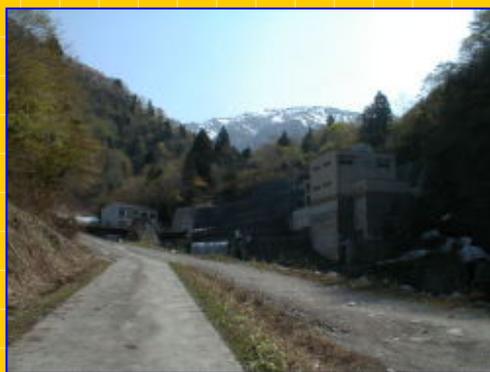
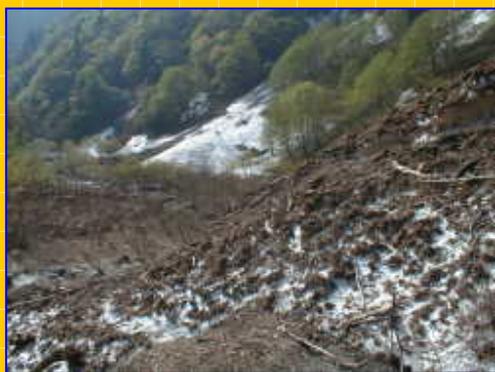
春山情報第6号

5 / 5

5/5 このところ天候がやや不良だったが、今日の天気によさそうなので、思いきってやや遅いが、朝8時に毛勝岳方面へ出発した。(天気を見て出発できない方々には大変悪いのですが・・・)結局、以前下見したところでの駐車となり、片貝山荘までは歩きとなった。行動時間が制約されたので、予定通り、僧ヶ岳東又コースへ行くことにした。下のほうからは、春霞でもやっていたが、山では、予想以上に視界がよかったので、今日は本当によい山行きとなった。登山道も最高に楽なコースで、本当に快適・快適・快適・快適・・・・是非みなさんこのコースを訪れて下さい。

第4 発電所の先の大堰堤の駐車場には、10数台の車がならんでいた。その前の南又の入り口にも10台程駐車しており、今日は大賑わいだ。左の写真はでぶりで埋まった道路。やはり、大きな工事でもないかぎり積極的に除雪はしないようだ。(8:40)40分程で、第5 発電所に到着。

左の方に見えるのが、避難所の「片貝山荘」である。避難所といっても、元の北陸電力の宿泊施設なので、以外としっかりしている。料金は無料、宿泊の場合は魚津市の方に連絡して下さい。遠方の方は、是非利用して下さい。(9:10)

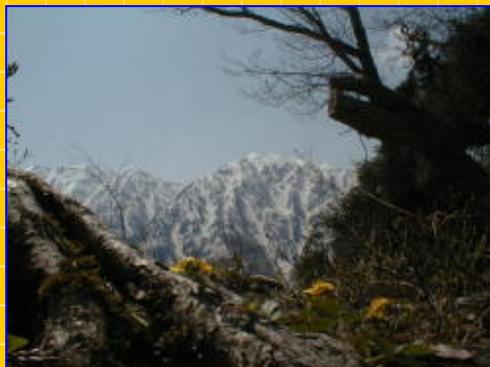
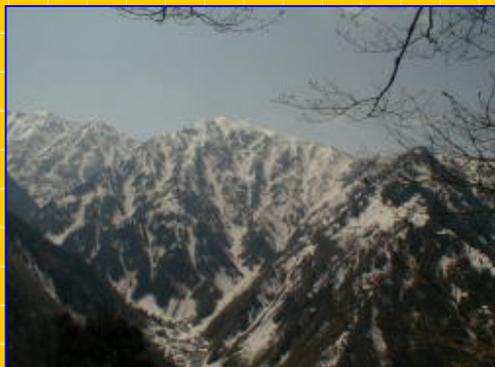


いよいよ東又コースの登山口、ちょうどこの出合いが毛勝岳へのメインコース「阿部木谷」への道だ。いつもだともっと先の堰堤まで車でいけるのだが・・・・写真は、阿部木谷からの明神山2002mです。(9:20)僧ヶ岳・東又コースの標識です。予想タイムが5時間と書いてありますが、この季節では先日の僧ヶ岳で出会った

グループが4時間だったので、それが標準タイムでしょう。以前に紹介でちょっと登山口がわかりにくいと知れないと書きましたが、申し訳ありません訂正致します。大変解かりやすく、予想以上に整備されたルートになっていました。



尾根からの展望です。ここから、秋と初冬には山の写真が絶景となります。時間的にも、ここまでなら簡単に来れるので、夕日の写真などは最高だと思うのですが・・・どなたか、挑戦して先日4/28に登った烏帽子山の高さまで来ました。1300mここは、別天地花が満開です。写真は毛勝岳を背景にした花の写真です。(10:20)下さい。



10分もすれば、もう毛勝岳が目の前です。

ここからの直登は、ずいぶん急なので大変苦しいですが、高度が見る間に稼げるのが本当にここちよいです。ちょっと、振り返ると毛勝岳が刻々と変化していきます。

(9:30)

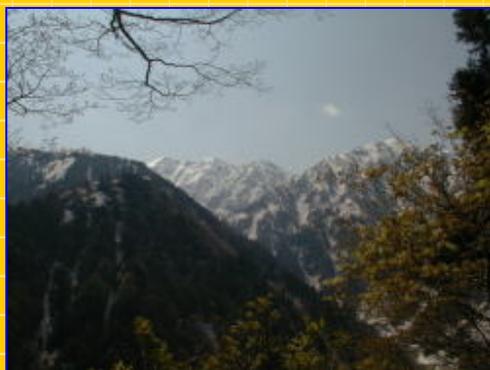
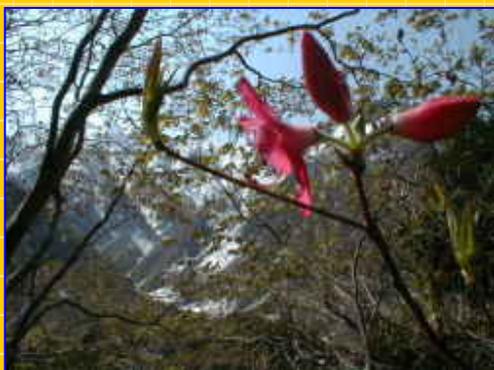
気がつくと、もうこんなに登ってしまいました。

先ほどまで、じゃましていた手前の尾根が、もう下に見えるようになりました。

ようやく、急な登りも終わり尾根の着きました。

これからは、ゆるやかな尾根が続きます。

(10:00)



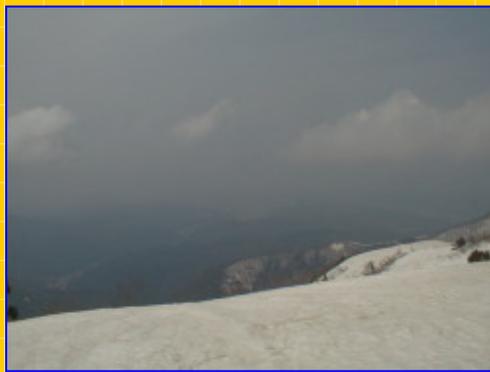
とりあえず、頂上までたどり着いたが、なにも見えない。頂上で宇奈月コースから登ってきた登山者2名と出会う。

写真は、下山中のほんの晴れ間の富山平野の写真。本来なら、日本海まで一望できるのだが。

(12:30)

稜線は、一見、冬の世界さえ感じるほど寒く感じたが、尾根を下山するととたんに、暖かくなった。

急な登山道も、ほとんど随所にロープがあり、簡単に下山することができた。写真は、毛勝岳から降りてきた登山者男女2組のグループです。(14:00)



登山道の周りは花・花・花・花・・・北アルプスで花を見るのはずっと後になるが、ここだけは特別区域である。

尾根の上部は、大パノラマ。剣岳北方稜線、毛勝岳・釜谷山・猫又山・明神山。サンナビキ山・駒ヶ岳などが一望出来る展望所である。一度、来る価値があると思いますが。(10:30)ようやく僧ヶ岳の頂上が見えてきた。もう最後なのに、天候が悪くなって残念だ。ここで、唯一、一人の登山者と出会った。頂上までいかず、天候が悪いので、ちょっと先で帰ってきたい。(11:40)

